

Ⅱ ゼミナールに入ろう

経済学部教務部委員

星野 広和

毎年5月から7月にかけて演習（ゼミナール；通称ゼミ）の募集（1次～3次）と選考が行われます。この募集要項では各ゼミの活動内容や特徴を紹介します。みなさんがこの要項を熟読のうえ、自分に最もマッチしたゼミについてよく研究し、ひとりでも多くの学生が応募・合格してくれることを期待しています。

(1) ゼミとは？

ゼミナール（ゼミ）は大学で専門的に学んでいく上で、また自分にあった学修を行う上で、講義とは異なる少人数かつ双方向の教育が受けられる演習形式の授業であり、重要かつ貴重な学びの機会です。また、学生同士だけでなく学生と教員がコミュニケーションを取りながら一緒につくり上げる最も大学らしい場所です。私たちはひとりでも多くの学生に自分に相応しいゼミに入り、ゼミの仲間や教員と大いに議論・討論してほしいと切に願います。自分の意見や考えを発表したり、多様な意見や価値観を聴いたり討論することはみなさんの学びをより深いものとし、就職活動（面接だけでなく集団討論のときも）やその後の職業生活にも大いに役立つことでしょう。みなさんが積極的かつ意欲的にゼミに応募することを期待しています。

後述するように、ゼミの開講パターンや開講時期、学生数や活動内容は様々ですが、一般的にゼミの特徴は次のように説明できます。

- ① 講義形式ではなく、学生と教員が話し合いながら一緒になって内容をつくりあげる少人数の演習系科目（専門応用科目）です。ゼミによって一学年の人数が10～15人とまちまちですし、他学年と合同で実施するゼミと学年ごと実施するゼミがあります。
- ② ゼミの主な内容は、(1)テキストを決めレジュメを作成して分担報告しながら精読する輪読、(2)学外のビジネスコンテストへの参加・発表、(3)テーマを決めグループあるいは個人で研究する論文作成、(4)グループ・ディスカッションやプレゼンテーション、(5)サマーセッションやスプリングセッションの合宿、(6)新歓・暑気払い・忘年会などのコンパ、(7)工場見学や企業見学、(8)OB・OG会などがあり、ゼミによって多彩です。
- ③ 講義科目とは異なって、ゼミでは学生同士および学生と教員の間での双方向のコミュニケーションが広く深く行われます。
- ④ ゼミに入るためには、ゼミ毎に行われる選考で合格しなければなりません。合格すれば「演習Ⅰ」からゼミに所属することになります（3年次4月募集のゼミを除く）。ただし、一度希望するゼミに合格したら、合格を辞退したり、別のゼミに応募し直したり、ゼミを変更することはできません。（例えば、ゼミ応募に合格して2年生後期からゼミを履修した場合、3年4月募集で応募しているゼミに入り直したいと思っても、応募したり入り直したりすることはできません。）

(2) 開講形態

ゼミは2年後期からはじまります。ゼミに該当する科目には、授業期間中に実施する「演習Ⅰ」（2年後期）、「演習Ⅱ」（3年次）、「演習Ⅲ」（4年次）と、左記の科目とセットで開講されるサマーセミナー、スプリングセミナー、「演習Ⅳ」があります。

サマーセミナーは夏休み中に実施される科目で、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと組み合わせて開講されます。また、スプリングセミナーは春休み中に実施される科目で、演習Ⅰ、Ⅱと組み合わせて開講されます。「演習Ⅳ」はゼミ論文（いわゆる卒論）作成のための科目で、演習Ⅲと組み合わせて開講されます。なお、演習Ⅲは、4年次通年で開講する「演習Ⅲ（4）」と、4年後期のみ開講する「演習Ⅲ（2）」に分かれます。

いずれのゼミも原則として、2年後期の「演習Ⅰ」、3年通年の「演習Ⅱ」は必ず開講されますが、サマーセミナー・スプリングセミナー、4年次の開講形態はゼミによって異なります。当然ですが、ゼミを通して修得できる総単位数も異なってきます（最小6単位～最大22単位）。

通常	演習Ⅰ			演習Ⅱ			演習Ⅲ (4)	演習Ⅲ (2)	演習Ⅳ	
サマー/ スプセ	演習Ⅰ サマセ		演習Ⅰ スプセ		演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ			演習Ⅲ サマセ	
開講 時期	2年 夏休み	2年 後期	2年 春休み	3年 通年	3年 夏休み	3年 春休み	4年 通年	4年 後期	4年 夏休み	4年 後期
単位数	2	2	2	4	2	2	4	2	2	2

なお、サマーセミナー・スプリングセミナーおよび演習Ⅳは、演習Ⅰ～Ⅲとセットで自動登録されます。学生都合で登録を取り消すことはできず、合宿に参加しなかったりゼミ論文を提出しなかったりした場合はDまたはRの評価となります。各ゼミの開講形態はそれぞれのゼミの紹介ページの冒頭部分に明記されていますので、熟読して各ゼミの開講形態を正しく理解したうえで応募して下さい。

(3) ゼミの選び方

ゼミによって活動内容や開講形態は様々ですから、ゼミの課題や学習内容、ゼミ（先生）とのかかわり方、つきあい方も変わってきます。各ゼミの内容や特徴をよく理解し、自分にあったゼミを選ぶことが大切です。その際、次の点を考慮しましょう。

- ① 自分の勉強したい「テーマ/分野（興味・関心）」に合致しているか考えましょう。ゼミのテーマ、教員の専攻/研究分野が自分にあっていようかどうかは最も大切なことです。（履修指定科目リスト参照）
- ② ゼミの活動内容をできる限り詳しく知って選びましょう。ゼミ説明会（後日公開）、公開ゼミ（後日公開）、オフィスアワー（HP参照）を積極的に活用しましょう。
- ③ 開講形態にも注意しましょう。前述したように、3年次で終了するゼミや4年次後期まで続くゼミ、夏合宿・春合宿のあるゼミやないゼミ、卒論があるゼミないゼミとさまざまです。開講

形態にも十分に考慮してください。

- ④ 担当教員とのコミュニケーションは、大学で学ぶ上でも学生生活や将来を考える上でも、みなさんにとって貴重な機会となるでしょう。1年半～2年半の間、一緒に勉強する教員についてもできる限り情報を集め、ゼミ選考の参考にしましょう。教員については、國學院大學 HP の経済学部のサイトにある「専任教員の紹介」でも知ることができます。

(4) 応募にあたっての注意

- ① みなさんがゼミに応募できるのは2年次の5月～7月の募集期間です(3年次4月開講のゼミを除く)。この間に第1次、第2次、第3次と計3回の募集・選考が実施されます。ただし、**第2次募集、第3次募集では、募集するゼミが限定されるので注意してください。**第1次募集から積極的に応募するようにしましょう。
- ② 昨年度より、各ゼミで**「修得済み科目」、「教員指定修得済み科目」、「履修しておくことが望ましい科目」**を設定しました。3月中に2年生の皆さんにはメールで告知され、4月の履修登録の際に注意して登録してくれたのではないのでしょうか。「修得済み科目」は経済学部の必修科目・義務履修科目で、ほぼすべてのゼミが5科目(日本の経済、基礎演習A、基礎演習B、コンピュータと情報、ライフデザイン)の単位を取っていることが応募の条件になっています。「教員指定修得済み科目」はすでに単位を取っているか、2年前期に履修している科目になります。「履修しておくことが望ましい科目」はこれまでに履修したことがある、または前期で履修していることが望ましい科目です。なお、「教員指定修得済み科目」で、2年前期の事前登録で落選したあるいは英語V、VIIなどと重なった場合は、ゼミの担当教員に直接相談してください。
- ③ 3年次の4月初旬にもゼミの募集・選考があり、「演習I」を履修していない学生は応募できませんが、ごくわずかなゼミしか募集しません(新しく着任される先生、派遣研究から戻られる先生、追加募集を行う先生のゼミなど)。ですから、第1次募集から積極的に応募するようにしましょう。
- ④ **ゼミの選抜に合格した後で、合格を辞退することはできません。**1つのゼミに合格すると、他のゼミの2次募集に応募できなくなりますので、よく考えて応募しましょう。
- ⑤ 合格した時点で「演習I」(サマーセミナー、スプリングセミナーを開講するゼミについてはそれらの科目も含む)が**自動的に履修登録**されます。ゼミの合格を放棄してもこの時間には他の科目を履修することができません。また、**2年次の履修単位制限(42単位)にも含まれます**ので注意しましょう。

(5) その他

平成31年度4月から着任する(もしくは派遣研究から戻られる)先生がいる場合、平成31年4月にもゼミ募集がある可能性があります。しかしながら、現時点でどのゼミが開講するかは未定です。また、応募できるのは演習Iを履修していない学生で、3年次4月開講ゼミに応募することができます。**(演習Iに応募していないか不合格のためゼミに所属していない学生であり、リタイア(DやR)の場合は再応募できません)**。募集がある場合には改めてホームページ上でお知らせします。

【一括登録の注意点】

ゼミは合格すると演習Ⅰ以降の全ての演習科目が開講パターンに応じて一括登録（サマーセミナー、スプリングセミナーも含む）されます。演習Ⅰの単位を修得し、演習Ⅱ以降の履修を取り消そうとしても演習Ⅰの合格時に全ての演習科目が登録済みです。履修修正でも取り消せません。年次履修上限の42単位に含まれてしまいます。そのため、演習Ⅱの時間帯に他の科目を履修することもできません。なお、演習Ⅲ以降については、演習Ⅱが演習Ⅲの前提科目であるために、演習Ⅱが不合格（DまたはR）である場合、演習Ⅲ以降の科目の自動登録が消去されます。

(6) よくある質問Q & A

■2年次の“留年”に関して

Q：2年次に進級制限のため留年してしまいました。ゼミの扱いはどうなりますか。

A：①1回目の2年次に演習Ⅰの単位を修得しなかった（履修しなかった）場合、2回目の2年次に、もう一度、演習Ⅰの1次募集から応募できます。

②1回目の2年次に演習Ⅰの単位を修得した場合、3年次の演習Ⅱ（4月募集）に応募することができます。

■2年次前期からの“留学”について

Q：2年次前期から（半年間または1年間）留学したいのですが、「演習Ⅰ」に応募できますか。

A：応募できません。（ただし、以下A）B）C）の条件すべてを満たした場合は応募できます。）

A）「演習Ⅰ」が開講される後期には留学先から戻っており、出席できること。

B）期日（前年度の3月31日）までに所定の書類を経済学部教務委員会に申請し、経済学部教務委員会が「留学」を認めたものであること。

C）ゼミ応募条件の課題とは別に、面接に相当するレポートを経済学部資料室経由でゼミ指導教員に提出すること。

※経済学部資料室（若木タワー9階）に所定の書類を取りに行き、手続きの仕方を確認してください。

※なお、2年次に1年間留学すると3年に進級できないため、翌年に「演習Ⅰ」の応募をすることになります。

■2年次後期からの“留学”について

Q：2年後期から休学して（半年間または1年間）留学したいのですが、2年前期の選考で合格したあとで後期に留学し、3年次の演習Ⅱからゼミに入れますか。

A：入ることはできません。

理由）休学しても2年前期に在学すれば3年に進級し、復学後は演習Ⅰが履修できないためです。

（ただし、以下の例外に該当する場合は応募できます。）

例外）6月30日までに所定の書類を経済学部教務委員会に申請し、経済学部教務委員会が「留学」と認めた場合と「協定留学（2年後期に行くセメスター留学等）」した場合は、例外的に3年次4月に開講する全ての「演習Ⅱ」に応募できます。なお、「演習Ⅱ」授業開始時まで

は留学先から戻ってなければなりません。

※経済資料室（若木タワー9階）に、所定の書類を取りに行き、手続きの仕方を確認してください。なお、今回の第1次募集期間内に希望するゼミの先生に相談しておくことを推奨します。

Q：2年後期から休学しないで（半年または1年間）留学したいのですが、2年前期の選考で合格した後で後期に留学し、3年次の演習Ⅱからゼミに入れますか。

A：入ることはできません。

理由）協定校のセメスター留学等の公的な留学以外（例えば、私費留学）の場合は現地での行動が確認できず、しかも演習の単位修得要件である「（原則毎回の）出席」と教員による「対面指導」が受けられないため演習Ⅰの単位修得ができないからです。自動的に、演習Ⅱ以降の履修もできません。

■3年次前期からの“留学”について

Q：3年次前期から1年間休学して留学する場合、演習Ⅱが履修できますか。

A：復学した3年次前期から所属していたゼミの演習Ⅱが自動登録されます。

Q：3年次の前期もしくは後期に半年間、協定校にセメスター留学したいのですが、3年次の「演習Ⅱ」の扱いはどのようになりますか。また、4年次の「演習Ⅲ」を続ける（履修する）ことはできますか。

A：3年次の前期もしくは後期に半年の間、協定校にセメスター留学する場合は、「履修保留」制度を使い、演習Ⅱ（およびⅢ）を継続して履修することができます。

「履修保留」制度とは「演習Ⅱ」の履修を保留できる制度です。保留した履修科目は、3年次に留学していた時と同じ時期（前期なら前期、後期なら後期）に4年次に履修を再開することができます。

つまり、3年次の後期にセメスター留学に行くために「演習Ⅱ」を「履修保留」した場合、4年次の後期に「演習Ⅱ」の履修を再開できます。4年次（後期）には「演習Ⅱ」と「演習Ⅲ」を平行して履修することになります。

なお、「演習Ⅱ」の単位を修得できなかった場合は「演習Ⅲ」の単位も修得できません。

■3年次後期からの“留学”について

Q：3年次の後期から休学して留学したいのですが、3年次の「演習Ⅱ」の扱いはどのようになりますか。

A：演習Ⅱの単位修得はできません。

理由）休学しても3年次前期に在学すれば4年に進級し、復学後は演習Ⅱが履修できないためです。また、協定校のセメスター留学等の公的な留学以外（例えば、私費留学）の場合は現地での行動が確認できず、しかも演習の単位修得要件である「（原則毎回の）出席」と教員による「対面指導」が受けられないためです。自動的に、演習Ⅲ（Ⅳ）の履修もできません。

■編入生、転部生、再入学生のゼミ応募について

Q：編入（転部、再入学）により3年生になりますが、ゼミに応募できますか。

A：全てのゼミに応募できます。

■その他

Q：2年次の演習Ⅰに合格して単位を修得しましたが、演習Ⅱから他のゼミに移籍したいのですが、移籍できますか。

A：移籍できません。

Q：一度落選したゼミに2次募集で応募することはできますか。

A：応募可能ですが、合格実績はほとんどありません。

Q：ゼミ応募の際、課題は提出したのですがK-SMAPYでの登録を忘れました。応募は認められますか。

A：認められません。

【重要】

以上について、不明な点や質問等があれば星野 (hoshino-h@kokugakuin.ac.jp) まで連絡して下さい